

かわべかくふく
国道13号 河辺拡幅

道路拡幅工事が一部完了 交通混雑緩和に向け
平成26年3月23日（日）に開通します。

国土交通省がこれまで事業を進めてきました、国道13号河辺拡幅において延長600mが平成26年3月23日（日）に開通します。

「河辺拡幅」は、秋田市河辺神内^{かわべじんない}字神内^{じんない}から秋田市上北手古野^{かみきたてこの}に至る延長6.6kmの道路で、「交通混雑の緩和」、「沿道通学路の安全確保」、「緊急搬送の安定性」など、より快適で安全・安心な地域づくりに向けて、道路を2車線から4車線へ拡幅する事業です。

今後も、事業を推進して参りますので、ご理解ご協力の程、宜しくお願いします。

○今回の延伸による主な整備効果（別紙-1）

- 効果1：秋田市河辺地区における交通混雑の緩和
- 効果2：沿道通学路の安全確保
- 効果3：緊急搬送ルート^{かみきたてこの}の安定性確保 など

○これまでの整備効果状況（別紙-2）

- 効果：中央公園入口交差点における渋滞長が改善

1. 開通区間：秋田市河辺北野田高野^{かわべきたのたこうや}～河辺和田^{かわべわだ}（延長600m）
2. 開通時間：午前6時



発表記者会：秋田県政記者会

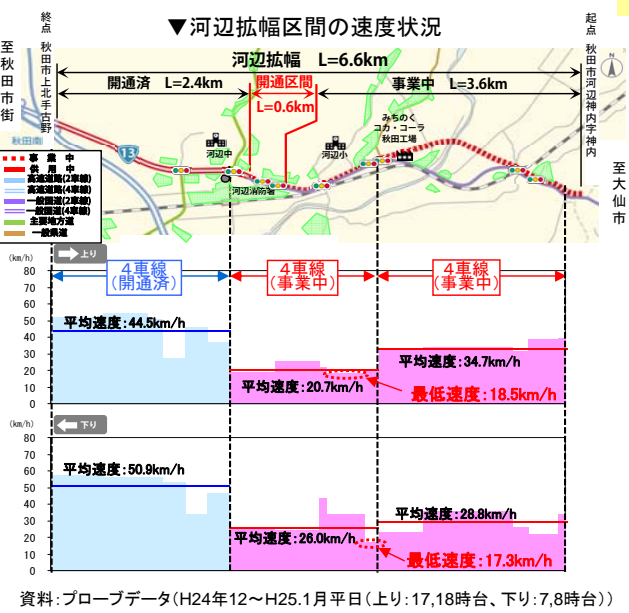
問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
副所長(道路担当) 今野 敬二 (内線205) 電話 018-823-4167(代表)
工務第二課長 東海林 寿

かわ べ かく ふく 河辺拡幅の整備効果

①秋田市と県南地域を結ぶ主要幹線道路の交通混雑の緩和

■国道13号は、秋田市と県南地域を結ぶ主要幹線道路であるため、通勤等により2万台/日を超える交通が集中。
■4車線化となり堆雪帯が確保されることにより、朝、夕の速度が向上し交通混雑の緩和が期待されます。



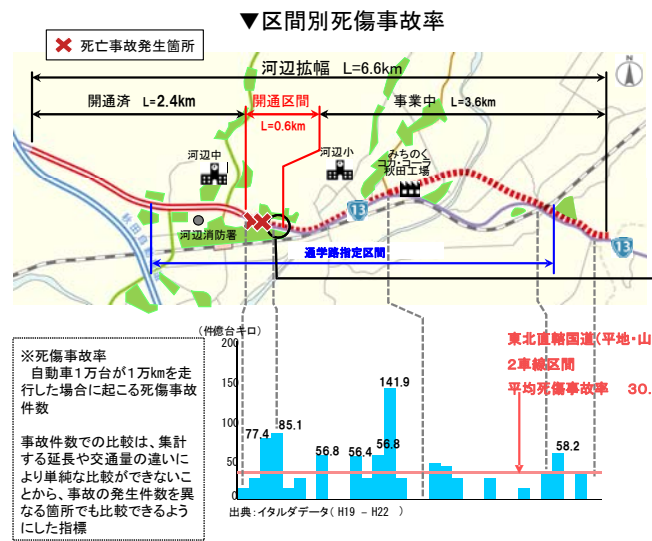
4車線化により、円滑な交通確保が期待

▼2車線区間の混雑状況(7時台 H25.1)



②国道沿線通学路の安全性確保

■事業中区間は、平成23年、24年と死亡事故が連続して発生するなど、死傷事故率が高い区間が多数存在。
■中央分離帯が設置され通学路も広くなり、児童の安全性向上が期待されます。



雪により歩道が狭いため危険な状況



▲積雪期の通学状況(H25.1)

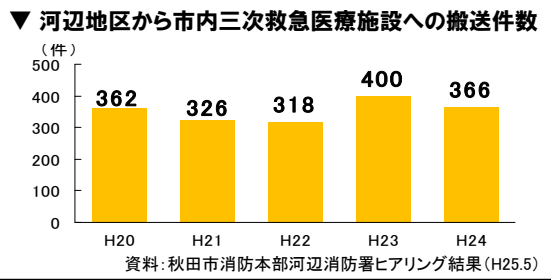
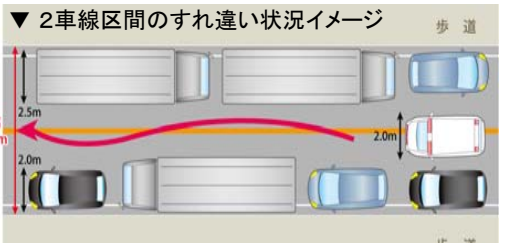


▲事故状況(H23.10.12/AM8:20)

③緊急搬送ルートへの安定性確保

■当該区間は河辺地区からの第三次救急医療施設への搬送件数は年間300件以上で推移。
■4車線化により、円滑で安定した救急搬送ルートの構築が期待されます。

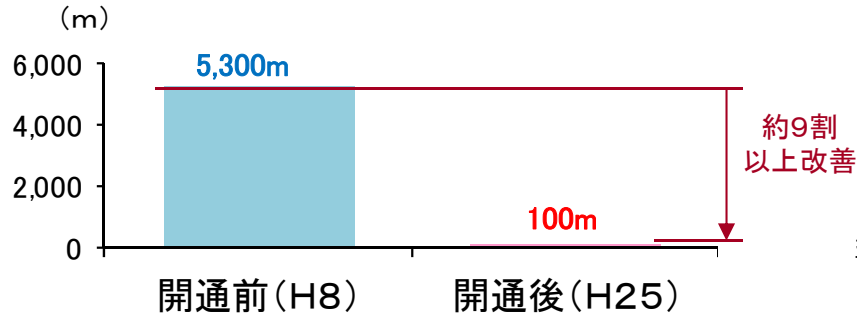
2車線区間では、すれ違いや追い越し時に危険を伴うと共に患者への負担も発生



河川拡幅の整備効果状況

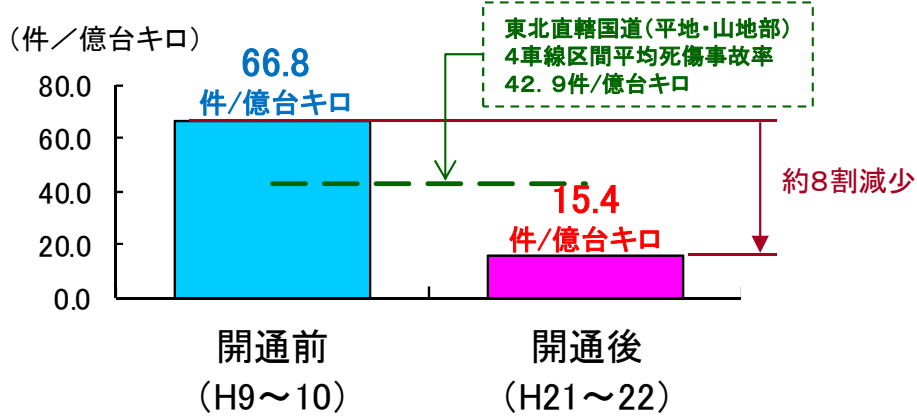
- ◇中央公園入口交差点における渋滞長(最大5,300m)が、4車線拡幅後に約9割以上改善
- ◇整備前と比較し、4車線開通区間の年間死傷事故率が、約8割減少

▼中央公園入口交差点の最大渋滞長



資料: 秋田河川国道事務所

▼開通区間の死傷事故率



資料: イタルダデータ

※死傷事故率: 自動車1万台が1万kmを走行した場合に起こる死傷事故件数
事故件数での比較は、集計する延長や交通量の違いにより単純な比較ができないことから、事故の発生件数を異なる箇所でも比較できるようにした指標



開通前 (H13.7)



開通後 (H25.6)



▲4車拡幅前後の状況 (秋田市河辺北野田地内)